

小池知事に生活者ネットワークの「要望書」を提出

岡本京子は、都議会生活者ネットワークの3人の都議と一緒に小池知事と懇談し、情報公開や、再生可能エネルギーの利用促進、人権を尊重し男女平等参画社会を構築するなどについて、積極的に取り組むことを求めた「要望書」を手渡しました。

暮らしに密着した課題を解決するために、政策決定の場に市民を議員として送る活動が生活者ネットワークの政治です。都議会にはどうしても生活者ネットワークの議員が必要で、西崎光子から岡本京子へ市民の議席をつなぎます。



●都政と区政の連携で暮らしやすい世田谷をつくる。

●岡本京子さんを応援します!



- 天笠 啓祐 科学ジャーナリスト
- 池田 こみち KK環境総合研究所顧問
- 池口 葉子 在宅福祉サービスNPO理事長
- 大河原 雅子 元参議院議員
- 鎌仲 ひとみ 映像作家
- 土谷 雅美 生活クラブ生活協同組合理事長
- 中川 李枝子 作家
- 保坂 展人 世田谷区長
- 三浦 まり 上智大学教授
- 三木 由希子 情報公開クリアリングハウス理事長
- 山田 真 小児科医 (五十音順)

Your Voice 2020!

あなたの声が政策に変わる
そして……東京を変える!

☞ Your Voice 2020!へのご意見はこちらからお寄せ下さい ☞

<http://www.seikatsusha.me/>

岡本京子

【東京・生活者ネットワーク政策委員】

おかもと きょうこ

生活者 岡本京子



<http://okamoto.seikatsusha.me/>

- 1957年 東京都大田区生まれ、成城学園中学・高校卒業 ●80年 成城大学文芸学部卒業、ソニー・プルデンシャル生命保険(株)入社 ●91年 世田谷で生活クラブ生協加入、食品安全や環境問題に取り組む ●2002年～04年 上海在住 ●11年 23区南生活クラブ生協理事長、原発稼働の是非を問う都民投票条例の直接請求運動に関わり、放射能汚染対策に取り組む ●13年 世田谷みんなのエネルギー理事 ●13年～15年 カリフォルニア在住 ●15年～ 世田谷・生活者ネットワーク事務局長 ●子ども食堂の開設・運営に参加現在も活動中

西崎光子から
岡本京子に交代します。

【都議会議員】
西崎 光子

カンパのお願い

生活者ネットワークの活動は市民のカンパとボランティアに支えられています。カンパのお振込みはこちらまでよろしくお願い致します。

【振込先】世田谷・生活者ネットワーク
【郵便振替口座】00110-1-0765709



【編集・発行】
世田谷・生活者ネットワーク 代表/佐藤里子
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-20-7-101
TEL: 03-3420-0737 FAX: 03-3706-1744
email: setagaya@seikatsusha.net
<http://setagaya.seikatsusha.me>

岡本京子の活動と政策を紹介しします



● 自然エネルギーの推進

福島原発事故から6年、いまだ収束の展望も見えないにもかかわらず、各地で原発再稼働に向けた動きが急になってきました。自主避難の人々への風当たりも強まっています。岡本京子は、原発の是非を問う都民投票条例制定の直接請求に関わり、福島の子どもたちへの支援活動に参加するとともに、太陽光パネル設置による市民発電所の理事も務めています。今こそ電力大消費地東京から脱原発の旗を掲げ、再生可能エネルギーを扱う事業者からの電力購入を推進します。



屋上の太陽光パネルを西崎都議と視察

● 子どもの貧困をなくす

岡本京子は子ども食堂の運営にかかわる中で、一見豊かに見える世田谷でも子どもへの貧困問題が深刻になっていることを実感してきました。子どもへの貧困は親の貧困です。シングルマザーや若者の非正規雇用の増加ともリンクしており、貧困の連鎖を断ち切るためには、子どもを安心して産み育てられる環境づくりや、継続的な子どもへの育ちを支える教育・医療・福祉の整備が早急に必要です。



ネットの成果

- 市民がお金を出し合って大学や保育園などの屋根に太陽光パネルを設置する「市民共同発電所」を応援
- 東京都にも屋根貸しを支援するビジネスモデルを提案
- 福島の子どもたちの受け入れ支援

ネットの成果

- 待機児童解消のための保育所増設に都用地活用を提案
- 学童保育の拡充
- 子どもの居場所づくり支援
- 高校生等を対象とした給付型奨学金の創設など



学習支援の大学生も一緒にご飯

● 高齢者も障がい者も安心して暮らせる社会をつくる

介護が必要な高齢者が増える中で、改定を繰り返す介護保険制度に不安を感じます。少子高齢社会では子どもの保育と親の介護が同時期に起きるダブルケアも増えており、身近な地域で見守りしなくみづくりと、保育や介護

に携わる人への支援を充実します。また障害があっても地域で暮らし続けるための様々なバリアを取り扱う一環として手話を広め、コミュニケーション条例の制定を求めています。



近所のお年寄りの車いすを押して散歩

● 食の安全・安心を守る

生活者ネットワークの原点は食の安全です。築地市場の移転については、そもそも東京ガス工場跡地だった豊洲では「食の安全」は守れないとして移転には一貫して反対してきました。豊洲市場問題では都庁の無責任・隠ぺい体質が露呈し、混迷を極めていきます。地下水モニタリング調査で基準値を超える有害物質が検出され、「安全・安心宣言」が出せる状況ではありません。生活者ネットワークは、徹底した情報公開と食の安全の視点で取り組みます。



ネットの成果

- 遺伝子組み換え食品の表示
- 冷凍食品の原料原産地表示
- 都市農業の推進、食品の放射能測定と結果の公表など

● 女性・若者が希望を持てる社会に！

共働き世帯が六〇%にも上る中で、家事・育児を男女が分担しているのは一五・一%にとどまっており、家事・育児の負担を主に女性が担っている状況がまだまだ続いています。さらに男女ともに長時間労働・長時間通勤であり、ワークライフバランスの推進、企業経営トップの意識改革や働き方の見直しなど、積極的に進めることを強く訴えていきます。

学校を卒業しても正規就労できない若者が増えている社会は、未来への希望を失い、貧困の連鎖を産むことにつながりかねません。誰もが自分らしく働き、暮らせる社会を



ネットの成果

- 高齢者在宅福祉の充実
- 障がい者の就労支援
- 都用地活用で民間福祉施設の整備促進など



ネットの成果

- 「女性しごと応援テラス」の開設
- 保育所増設と保育士の処遇改善
- NPO活動推進など



ピンクの帽子で国際婦人デーのウイメンズマーチに参加